

令和3年度 事業計画書

令和元年の我が国における高齢化率は28.4%となっており、少子高齢化が急速に進展し労働力人口が減少している中、働く意欲のある高齢者が元気に活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが必要となってきます。そのためには、今後シルバー人材センター（以下「センター」という）に対する地域社会及び経済からの期待はより一層大きなものとなってくることでしょう。

全国のセンターの会員数は、平成21年度に約79万人に達した後減少を続けており、近年の企業における定年延長、継続雇用制度、さらに昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、センターへの入会減少と会員の高齢化が大きな課題となっております。

そしてもう一つの課題は女性会員の増強です。現在全国で約23万人、男女比率で33.8%の女性会員が元気に活躍しています。超高齢社会と言われる中で、特に高齢者人口の男女割合や就業率等からみて、女性のさらなる活躍が必要とされているところです。女性会員が地域社会の中で光り輝くことで、入会希望者も増加し、延いてはセンターのイメージも変わっていくと期待されています。

そのような背景を受け、全国シルバー人材センター事業協会では、「第2次会員100万人達成計画」を策定し入会促進、退会抑制を進めセンターのイメージ転換を目指し、積極的な広報活動を展開しています。

さらに埼玉県シルバー人材センター連合（以下「いきいき埼玉」という）では、昨年度末に会員拡大キャンペーンを実施し、県内各センターが実施する会員拡大事業を支援する政策を実施したところです。

当センターでは令和元年「第2次中長期計画」を策定し、5年後のセンターの目指すべき基本目標とそれに沿った様々な取り組みを立案・展開してきました。しかしながら令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための三密を避けた施設使用制限及び活動自粛、そして緊急事態宣言発令による経済活動の制限等を受け、センター事業も思うような展開が図れませんでした。

今年度は、第2次中長期計画の5か年の中間年度にあたります。計画では中間年度に見直しを行うとしていますが、ここでは基本目標数値を見直すのではなく、ここまでの取り組み実績を評価し、コロナ禍における経済・社会動向を踏まえ、目標達成手段である具体的な取り組みの見直し検討を加えていくこととします。

以下、第2次中長期計画の基本方針・目標に沿った令和3年度の取組みについて記述します。

【基本方針と取組み事項】

(1) 会員の確保

当センターにおける令和3年2月末現在の会員数671人、平均年齢73.0歳、そして令和2年度中の新入会員の平均年齢69.1歳と60歳から65歳の層は大きく減少し、65歳以上の層が増加しています。入会希望者の減少と会員の高齢化が顕著となってきているため、新規会員の確保と退会者の抑制を図るため次の取組みを行います。

《入会促進の取組》

- ・昨年度末実施した会員拡大キャンペーンを検証し、今後の説明会の在り方を検討し入会者の拡大に取り組みます。
- ・今年度いきいき埼玉が実施する「入会手続きオンライン化・入会説明会動画作成・ウェブホーム作成」事業の支援を受け入会手続きの簡略化を図り入会促進に取り組みます。

《広報活動の充実》

- ・ホームページの充実によるセンター事業の積極的なPR活動に取り組みます。
- ・昨年度末に実施した、会員拡大キャンペーンのパンフレットポスティング効果を検証し、新たな広報手段の導入に取り組みます。

《女性会員の増強》

- ・令和2年度末女性会員比率は23.5%、中長期計画の目標25%に近付きつつありますが、国や県の比率からはまだ大きな乖離があります。昨年度実施した女性限定入会説明会等の実績を検証し、更なる女性会員の確保に向けた方策に取り組みます。

《高齢会員への支援と退会者の抑制》

- ・就業が困難になった高齢会員について、地域班の活動、親睦会活動等でセンターとの繋がりを感じていただけるよう働きかけます。
- ・長年会員でいることに誇りと自信が得られるような「プラチナ会員、ゴールド会員」などの制度設計に取り組みます。

(2) 就業の充実

当センターの就業率は、令和元年度実績で94.3%を達成し、県内においても高水準を維持しています。企業や一般家庭からも多くの就業依頼がある中で、

就業する会員が見つからなかったり、会員が希望する職種からの就業依頼が無かったりとするアンマッチなケースも多々見受けられます。今年度、いきいき埼玉が実施するシニア就業コーディネーター事業等を活用し就業先と会員のマッチングを高めていきます。

《未就業会員の就業支援》

- ・会員サロンやホームページに掲載する「就業情報」を、より効果的に提供できるよう取り組みます。
- ・未就業会員には出前就業相談会等、様々な場面を捉えた就業相談会を開催し、定期的な意向確認を実施し就業に結び付くよう取り組みます。

《女性会員・高齢会員に適した職種、就業先の確保》

- ・就業相談会や会員アンケート等を通じ、女性会員や高齢会員に適した希望職種のニーズを把握し、就業先の開拓に取り組みます。

《研修会の充実》

- ・新入会員研修会では、就業中であることが理由となって研修会に参加できない会員がいることから、就業開始のタイミングを含め研修会の在り方を検討します。
- ・各種研修会への能動的な参加者が毎回少ないことから、研修会の内容充実と参加へのインセンティブとしての「シルバーポイント制度」を実施します。

(3) 安全就業の推進

会員一人ひとりが仕事を選ぶ時から安全は自分の問題として取り組む「安全＝自己管理」の意識を持つことが最も大切です。

センターでは「安全・適正就業委員会」を設け、交通安全講習会等の開催や「安全ニュース」を毎月発行し、事故を未然に防ぐための様々な知識や経験を提供し会員の安全就業の取り組みを支援します。

《委員会参画による安全就業の確保》

- ・今年度より事故取扱基準を制定し、個々の事故に対し委員会での協議を踏まえ公正な検討を加え適正な措置を行い、事故の再発を防止し会員の安全就業を推進します。
- ・現在実施の安全パトロールを検証し、より効果的な安全パトロールを実施することにより安全就業へと繋がります。

《事故の未然防止への取組み強化》

- ・安全に関する各種研修・講座及び安全標語の募集と活用を再検討し、安全＝自己管理の意識の醸成を図ることに取り組みます。
- ・安全就業意識の醸成に繋がるよう、安全ニュースの充実に取り組みます。

《会員の健康づくりをサポート》

- ・昨年度実施した健康長寿医療センター研究所の「就業安全調査」や、メンズカーブスの協力を頂いた「からだの衰え度チェック」は、多くの会員の参加を頂き好評を得ました。今後もフレイル予防のための事業を継続し、会員の健康づくりと安全就業の支援に取り組みます。

(4) センター活動への参加促進

センターは「自主・自立、共働・共助」を基本理念とした会員組織です。会員自らが主体的に組織活動や事業の運営に参画することが求められております。

《地域班活動の充実》

- ・地域班はセンターの自主的・主体的な組織運営を支える最も基礎的な組織として、また、センターの組織活動の第一線を担う組織として機能することが求められています。
- ・近年地域班の主体的な活動が停滞し充分機能していない状況に加え、昨年来のコロナ禍の影響を受け活動は益々鈍っています。昨年度は、会員拡大キャンペーン時に入会案内パンフレットのポスティング業務を担って頂きました、今後もこのような事業を始め、中心的な事業である地区別懇談会の充実に取り組みます。

《基本理念の浸透》

- ・入会説明会・新入会員研修会など各種講習会やイベント時など様々な機会を捉え、センターの基本理念の浸透に取り組みます。
- ・入会時に配布する「会員のしおり」を作成し、基本理念の浸透に取り組めます。

《センター事業の充実》

- ・魅力あるセンター事業の実施は、既存会員の退会抑制のみならず、新規会員の増強にも繋がることから、アンケートボックスを設置して会員のニーズを把握し、時代の潮流を捉えた事業の展開に取り組みます。

《シルバーポイント制度の導入》

- ・センターの各種事業への参加者にポイントを付与し、記念品を贈呈する「シルバーポイント制度」を導入することにより、インセンティブを持たせ事業への参加者増加に取り組みます。

《ボランティア活動等の推進》

- ・就業だけでなく、ボランティア活動を始めとする社会参加を通じて地域に貢献し健康で生きがいのある生活を実現するため、地域班活動や親睦会活動におけるボランティア活動の推進に取り組みます。

(5) 運営基盤の強化

センターの事業運営には、事務局の体制整備と会員である役員や委員の参加が必須となることから、理事会を始めとした各種委員会と連携し、会員組織であるセンターの公益法人としての適正な運営を図る必要があります。

《安定かつ効率的な法人運営》

- ・昨今のコロナ禍の影響を受けた経済の停滞は、当センターの受託事業収益に少なからず影響を及ぼしています。このような状況の中、公益法人としての収支相償の原理原則に従い、予算執行の精度を高め財政の安定化を図り効率的なセンター運営に取り組みます。
- ・適正な人員確保、業務分担、そして職員の研修によるスキルアップ等により、事務の効率化はもちろんのこと事務執行体制の強化に取り組みます。

《理事会・各種委員会の活性化》

- ・センターの業務執行の決定機関である理事会や総務委員会を始めとする各種委員会は、センターの適正な運営を行う上で重要な組織となることから、研修会参加による理事及び委員の意識や資質の向上に取り組みます。

《ホームページや広報紙を充実、センターの情報発信機能を強化》

- ・ホームページは、現会員向け並びに現顧客向け情報発信のみならず、新規会員募集や新規顧客募集など、様々なステークホルダーに向けてのリアルタイムな情報発信ツールであることから、魅力ある充実した情報発信に取り組みます。
- ・年二回発行するセンター広報紙「シルバーひがしまつやま」は、広報委員会委員による会員目線の情報発信となるよう取り組みます。